

事務事業マネージメントシート

作成日 平成26年04月30日

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動）		⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移										
25年度実績 維持管理については、専門性、効率性を考慮して民間の専門業者に委託した。 委託内容 ・清掃・冷暖房設備・自動ドア・地下タンク・消防設備修繕 ・地下タンクもどり管修繕工事 ・污水管修繕工事 ・ライブリー出入口扉修繕他3件		名称		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)			
		ア 委託件数		件	5	5	5	5	5			
		イ 修繕件数		件	4	4	7	6	2			
		ウ										
		エ										
		オ										
26年度計画 ・消防設備修繕 ・ファンコイルユニット交換工事 ・その他については25年度同様。		⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移										
施設・設備利用者数		名称		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)			
		ア 建物延べ床面積		平方m	1,440	1,440	1,440	1,440	1,440			
		イ 利用者数		人	37,064	35,701	36,906	32,130	33,000			
		ウ										
		エ										
		オ										
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）		⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移										
市民に安全で快適な学習の場を提供するため、施設整備の充実を図る。		名称		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)			
		ア 修繕件数		件	4	5	7	6	2			
		イ										
		ウ										
		エ										
		オ										
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか）		⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移										
常に施設を快適に利用できるよう維持管理し、青年女性等の自主研修の場として活用していただき、市民の資質の向上を図る。		名称		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)			
		ア 市内在住者に占める延べ利用者の割合		%	44.5	42.9	44.9	39.1	40.5			
		イ										
		ウ										
		エ										
		オ										
(2) 総事業費の推移		単位	22年度(実績)		23年度(実績)		24年度(実績)		25年度(実績)		26年度(見込)	
投 入 量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	5,879	5,027	7,404	5,593	0	0	0	0	
事業費計（A）		千円	5,879		5,027		7,404		5,593		0	
人 件 費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	1	0	0	
		延べ業務時間	時間	160	160	160	160	160	160	0	0	
		人件費計（B）	千円	683	679	672	650	650	650	0	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	6,562		5,706		8,076		6,243		0	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等												
①この事務事業を開始したきっかけは何か？いつごろどんな経緯で開始されたのか。		昭和55年の青年女性会館の開館に伴い維持管理を開始した。当時は青年婦人会館という名称であったが、平成15年に現在の名称になった。										
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？		H23屋根の防水工事、H24外壁、内壁の改修工事が終了した。										
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？												

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 施設を良好な状態で保ち、利用者が気持ちよく利用することで、生涯学習の振興に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 多様化する市民の学習内容に対応できるよう施設を管理することは、市の責務である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 老朽化が進んでいるが、市民学習の場として適切な維持管理が必要である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 適切な保守管理や修繕を行っている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 適正な施設の維持管理を行わなければ施設本来の機能を発揮できず、老朽化が急速に進行する。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 現在の維持管理は、必要最小限の維持管理であり、削減はできない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 維持管理の委託契約事務等の経費である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 使用料は社会教育施設として、適正な金額、公平・公正な配分になっている。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"><thead><tr><th colspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th colspan="2"></th><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr></thead><tbody><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客觀性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客觀性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客觀的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"><thead><tr><th colspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th colspan="2"></th><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr></thead><tbody><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（從来通りで特に改革改善をしない）																								
(4) その他2次評価会議で指摘された事項																								